

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	独立行政法人国立文化財機構施設整備に必要な経費	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	文化庁	担当課室	美術学芸課	美術学芸課長 栗原 祐司		
会計区分	一般会計	上位政策	文化財の保存及び活用の充実			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人国立文化財機構法 (平成11年法律第178号)第3条、第12条第1項	関係する計画、 通知等	中期目標、中期計画、年度計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	博物館を設置して有形文化財を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、文化財に関する調査及び研究等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立文化財機構の設置する施設の整備充実を図るため、平成21年度は、以下の工事を実施。 「東京国立博物館東洋館耐震補強改修工事」【繰越しに係る事業】 「東京国立博物館東洋館設備改修工事」【老朽化に伴う工事】 「京都国立博物館平常展示館建替工事」【老朽化に伴う工事】 【繰越しに係る事業】 「奈良国立博物館西新館耐震補強改修工事」【繰越しに係る事業】 「奈良国立博物館西新館免震展示ケース設置工事」【繰越しに係る事業】 「奈良国立博物館仏教美術資料研究センター耐震補強改修工事」【繰越しに係る事業】 「奈良文化財研究所平城宮跡資料館公開展示部門機能充実整備等工事」【老朽化に伴う工事】					
実施状況	「東京国立博物館東洋館設備改修工事」 ・補正予算の一時保留及び想定外のアスベスト除去作業により工事に遅れが生じたため平成22年10月に一部繰り越す計画変更が生じたが、その他については順調に進捗している。 「京都国立博物館平常展示館建替工事」 ・平成20年度から平成23年度までの4年国債により実施しているところであるが、想定外のアスベストの検出等に起因する工事の遅れにより、契約時の4割の出来高となり、平成22年度以降出来高を増やす予定である。 「奈良文化財研究所平城宮跡資料館公開展示部門機能充実整備等工事」 ・平成22年3月竣工した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	711	6,648	5,776	3,992	4,792
	執行額	148	1,975	2,228		
	執行率	20.8%	29.7%	38.6%		
	総事業費(執行ベース)	148	1,975	2,228		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	○業務完了時には、竣工検査を行った上で、支払をしているため、支出先・用途の把握を行っている。 ○監事及び外部有識者からなる契約監視委員会による契約の点検・見直しにより、契約の適正性・公平性の確認、改善方策の点検等を実施。				
	見直しの余地	○既に一般競争入札等による競争性の導入を促進するとともに、公告期間の確保等により、一者応札・一者応募とならないよう配慮している。 ○少額随意契約を除く随意契約7件のうち、5件は意図伝達業務であり、設計業者以外が実施することができず競争の余地はない。その他、建替工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務で、京都市より要請のある業者に限られる契約、及び追加の設計業務で競争に附することが不利と認められる契約であり、いずれも契約監視委員会により、止むを得ないものとの評価を受けている。 ○今後、一者応札となった契約と同様のものが生じたときには、公告期間の延長または、必要条件を充足した上で仕様書の要件の見直しを図る。また複数者が応募できるよう、応募条件等の見直しを検討する。				
予算監視・効率化	1. 事業評価の観点:この事業は、独立行政法人が施行する施設整備に対する補助事業であり、事業の効率化の観点から検証する。 2. 所見:必要な施設整備を計画的に実施しているものであり、平成23年度において国庫債務負担行為の後年度歳出化額の増が見込まれていることから、計画の着実な実施に努めることとし、現行の予算規模を維持すべきである。 なお、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。					
補記	※平成19年度から平成21年度においては、翌年度へ繰越を行ったために各年度の執行率が低くなった。 【繰越し額】 平成19年度→平成20年度 561百万円 平成20年度→平成21年度 5,122百万円 平成21年度→平成22年度 8,312百万円 (内、平成20年度3,195百万円の再繰越を含む) ※23年度要求が増額となっているのは、国庫債務負担行為歳出化額の増額のためである。					

文化庁
施設整備費補助金2,228百万円

事業概要
独立行政法人国立本原財機補強整備費補助金及びその
助成金の補給金を受けるため、国立本原財機を交付機
の整備に要する経費に対して補助を行う。

〔補助〕

〔A〕独立行政法人国立文化財機構
2,228百万円

〔B〕東京国立博物館東洋館耐震補強改修工事
891百万円

耐震補強のための改修工事を実施

〔一般競争入札〕

〔B-1〕民間会社
全5機関
891百万円

東京国立博物館東洋館耐震改修その他工事の前払金等

〔C〕東京国立博物館東洋館設備改修工事
445百万円

老朽化のための改修に伴う各種設備等の工事を実施

〔一般競争入札〕

〔C-1〕民間会社
全3機関
445百万円

東京国立博物館東洋館設備改修設計業務等

〔D〕京都国立博物館平常展示館建替工事
224百万円

老朽化のための建替工事を実施

〔一般競争入札〕

〔D-1〕民間会社等
全6機関
224百万円

京都国立博物館南門売店増築工事等

〔E〕奈良国立博物館西新館耐震補強改修工事
394百万円

耐震補強のための補強工事を実施

〔一般競争入札〕

〔E-1〕民間会社
全3機関
394百万円

奈良国立博物館西新館耐震補強工事等

〔F〕奈良国立博物館西新館免震展示ケース設置工事
17百万円

耐震補強のための免震展示ケース設置工事

〔公募〕

〔F-1〕(株)大阪山田守建築事務所
17百万円

奈良国立博物館免震展示ケース設計業務等

〔G〕奈良国立博物館仏教美術資料研究センター耐震補強改修工事
110百万円

耐震補強のための補強工事を実施

〔一般競争入札〕

〔G-1〕民間会社等
全4機関
110百万円

奈良国立博物館仏教美術資料研究センター耐震補強工事等

〔H〕奈良文化財研究所平城宮跡資料館公開展示部門機能充実整備等工事
142百万円

館内改修工事を実施

〔一般競争入札〕

〔H-1〕(株)尾田組 125百万円
(株)トータルメディア開発研究所 17百万円

奈良文化財研究所平城宮跡資料館改修その他工事

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につ いて記載する。 使途と費目の 双方で実情が 分かるように記 載)	A.独立行政法人国立文化財機構			F.奈良国立博物館西新館免震展示ケース設置工事		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	施設・設備の整備にかかる工事費、 工事にかかる設計料、工事監理料等	2,223	事業費	耐震補強のための免震展示ケー ス設置工事	17
	謝金等	施設・設備の整備にかかる謝金等	5			
	計		2,228	計		17
	B.東京国立博物館東洋館耐震補強改修工事			G.奈良国立博物館仏教美術資料研究センター耐震補強改修工事		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	耐震補強のための改修工事を実施	891	事業費	耐震補強のための補強工事を実施	110
	計		891	計		110
	C.東京国立博物館東洋館設備改修工事			H.奈良文化財研究所平城宮跡資料館公開展示部門機能 充実整備等工事		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	老朽化のための改修に伴う各種 設備等の工事を実施	445	事業費	館内改修工事を実施	142
	計		445	計		142
	D.京都国立博物館平常展示館建替工事			B-1.株式会社大林組		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	老朽化のための建替工事を実施	224	役務	東京国立博物館東洋館耐震改修 その他工事等	456
	計		224	計		456
	E.奈良国立博物館西新館耐震補強改修工事			C-1.株式会社三冷社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	耐震補強のための補強工事を実施	394	役務	東京国立博物館東洋館設備改修 等工事	204
計		394	計		204	

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

D-1.株式会社山川					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	京都国立博物館南門売店増築工 事等	134			
計		134	計		0
E-1.株式会社奥村組					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	奈良国立博物館西新館耐震補強 工事等	330			
計		330	計		0
F-1.株式会社大阪山田守建築事務所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	奈良国立博物館免震展示ケース 設計業務等	17			
計		17	計		0
G-1.株式会社尾田組					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	奈良国立博物館仏教美術資料研 究センター耐震補強工事等	65			
計		65	計		0
H-1.株式会社尾田組					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	奈良文化財研究所平城宮跡資料 館改修その他工事	125			
計		125	計		0

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

事業名: B.東京国立博物館東洋館耐震補強改修工事

	支出先	支出額(百万円)
1	株式会社大林組	456
2	株式会社安井建築設計事務所	108
3	金剛株式会社	227
4	ヤマトプロテック株式会社	84
5	株式会社日立製作所	16
合計		891

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

事業名: C.東京国立博物館東洋館設備改修工事

	支出先	支出額(百万円)
1	株式会社三冷社	204
2	日本電設工業株式会社	195
3	株式会社森村設計	46
合計		445

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

事業名: D.京都国立博物館平常展示館建替工事

	支出先	支出額(百万円)
1	株式会社山川	134
2	近畿地方整備局	52
3	財団法人京都市埋蔵文化財研究所	20
4	株式会社梓設計	9
5	株式会社谷口建築設計研究所	8
6	株式会社URサポート	1
合計		224

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

事業名: E.奈良国立博物館西新館耐震補強改修工事

	支出先	支出額(百万円)
1	株式会社奥村組	330
2	株式会社大阪山田守建築事務所	40
3	三機工業株式会社	24
合計		394

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

事業名: G.奈良国立博物館仏教美術資料研究センター耐震補強改修工事

	支出先	支出額(百万円)
1	株式会社尾田組	65
2	財団法人文化財建造物保存協会	41
3	金剛株式会社	3
4	木下家具製作所株式会社	1
合計		110